

平成25年度 北海道原子力防災訓練の概要

訓練目的

- 防災関係機関相互の連携の確認
- 防災業務担当者の防災技術の向上
- 地域住民の防災意識の高揚と防災対策に関する理解促進

訓練日時

平成25年10月8日(火) 8時30分頃から16時頃まで

訓練参加者・機関

地域住民、防災関係機関等(約260機関)

訓練想定

- 10月8日(火)午前8時25分に地震(震度6)が発生。電源喪失や冷却機能の喪失など、事態が進展し、PAZ(5km圏)内住民の段階的避難を実施。
- 放射性物質の放出に伴い、緊急時環境放射線モニタリング調査に基づき、UPZ(30km圏)内住民の避難を実施。

防護対策区域設定

避難区域・・・泊村、共和町、神恵内村、積丹町、古平町、余市町

屋内退避区域・岩内町、寿都町、蘭越町、ニセコ町、倶知安町、仁木町、赤井川村

主な訓練項目

- 災害対策本部等設置運営訓練
- 緊急事態応急対策拠点施設(代替OFC)運営訓練
- 緊急時通信連絡訓練
- 緊急時環境放射線モニタリング訓練
- 広報訓練
- 退避等訓練
- 緊急被ばく医療活動訓練
- 住民生活保全訓練

訓練の主なポイント

- 発電所の事故進展にあわせた、段階的な住民避難
- 後志代替OFCでの指揮所訓練の実施
- 実際の避難場所等への住民避難(泊村、共和町、神恵内村、古平町)
- 渋滞を想定した住民への休憩場所の提供(スーパー、コンビニ等での渋滞情報及び食料の提供)

避難所①(泊村)	アパホテル&リゾート<札幌>(札幌市南区川沿4条2丁目)
避難所②(共和町)	ルスツリゾート(留寿都村字泉川13番地)
避難所③(神恵内村)	シャトレーゼ ガトーキングダム サッポロ(札幌市北区東茨戸132番地)
救護所(積丹・古平・余市)	小樽フェリーターミナル(小樽市築港7番2号)
一時滞在場所(古平町)	小樽市総合体育館第2体育室(小樽市花園5丁目2番2号)

連絡先

総務部危機対策局原子力安全対策課企画防災グループ
担当: 宇野 稔弘
[内線 22-854] [直通 011-204-5011]